

補助事業番号 22-1-108

補助事業名 平成 22 年度 交通安全思想の普及補助事業

補助事業者名 社団法人 日本交通福祉協会

## 1. 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

交通安全思想の普及活動は、当協会の事業目的の一つであるが、交通安全の意識や思想は一朝一夕で身につくものではなく、小さいときから日常生活を通して身に付けさせる必要がある。子供の交通事故、特に自転車乗用中及び歩行中における子供の痛ましい交通事故を減少させるべく、ここ数十年来、政府の「家族総ぐるみ交通安全運動」の一環として広く、「我が家の交通安全」と題した作文を募集、表彰、文集作成、広報しているものである。この事業は前述の交通安全運動の原点ともいうべき「家族総ぐるみ交通安全運動」を全国的に推進し、子供達の交通事故を防止し、もって公益の増進に寄与することを目的とする。

### (2) 実施内容

平成 22 年 6 月 24 日に都道府県、市町村教育委員会宛てに「交通安全ファミリー作文」募集用のポスター及び応募要領チラシを配布し、管下の小中学校に配布を依頼した。7 月 1 日より応募作品の受付を開始し、9 月 10 日付消印をもって応募を締め切った。応募総数は 17,328 通で小学生 2,951 通、中学生 14,377 通であった。

平成 22 年 11 月 24 日内閣府の会議室において、審査委員会が行われ、最優秀作（内閣総理大臣賞）各部門 1 名 計 2 名、優秀作（内閣府特命担当大臣賞）各学年 1 名計 9 名、佳作（内閣府政策統括官賞）各学年若干名 計 46 名、合計 57 名が選出された。

最優秀作（内閣総理大臣賞）については、平成 23 年 1 月 18 日、日比谷公会堂で行われた「第 51 回交通安全国民運動中央大会」において賞状、副賞を付して表彰した。優秀作・佳作については賞状と副賞を受賞者の在籍学校長宛に送付し、それぞれの在籍校にて表彰していただくよう依頼した。

上記 57 作品を一冊の文集に編纂刊行、「我が家の交通安全」というタイトルの文集を 40,000 冊作成し、交通安全対策の一環として、全国小中学校、都道府県教育委員会等は無償（寄贈）配布した。

## 2. 予想される事業実施効果

「我が家の交通安全」作文集は、小中学生の視点でとらえた優秀な作品が網羅されており、小中学校において交通安全教育の教材として広く活用されることによって、交通安全に対する意識が高くなり、小中学生の交通事故の減少に寄与することが期待される。

### 3. 本事業により作成した印刷物

「我が家の交通安全」作文集 40,000 冊



### 4. 事業内容についての問い合わせ

団体名：社団法人 日本交通福祉協会（ニホンコウツウフクシキョウカイ）

住所：101-0021

東京都千代田区外神田 2-2-17

代表者名：会長 杉浦 力（スギウラ ツトム）

担当部署：事業部（ジギョウブ）

担当者名：事業部長 松野 明彦（マツノ アキヒコ）

電話番号：03-3255-2081

F A X：03-3255-2084

E-mail：[jtw@koutsufukushi.or.jp](mailto:jtw@koutsufukushi.or.jp)